

運動機能分野

運動機能の紹介

肢体不自由のある児童生徒を対象に、1対1で授業を行う時間があります。授業数は児童生徒の課題に応じて、週1～4時間としています。指導内容は個々のニーズに合わせて、運動機能を高める内容や、二次障害の予防などに視点をあてて取り組んでいます。

①ストレッチ

大腿裏側にあるハムストリングスのストレッチをしています。拘縮の進行予防を目的に、しっかりと伸ばせるように頑張っています。



②平行棒歩行

平行棒内で、バーを握ったり、松葉杖を使って歩行の練習をしています。自立歩行や校内での歩行車歩行を目指しています。

